

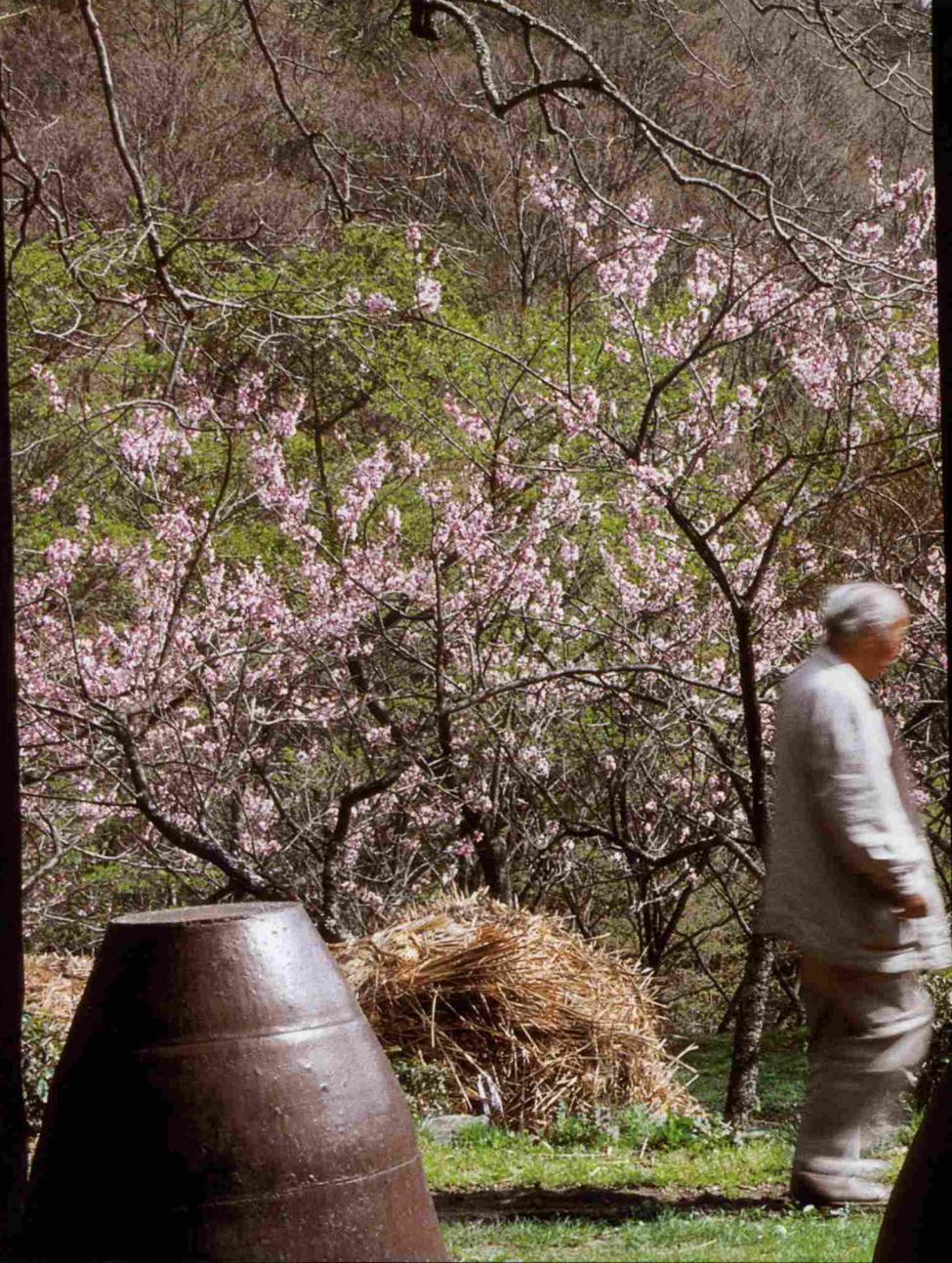
# ANGLE KOBE

A BALMY SPRING DAY

April

Photo Mann Kikuchi







アニマル  
ベビー ☆  
Animal Baby  
vol.1

インドゾウ赤ちゃん国内初誕生おめでとう!

神戸市立王子動物園 3月2日 午前3時40分出生 メス

母親（ズゼ）のおなかの中に22ヶ月いました。生まれる瞬間は足がひっかかることもなく安産で、間もなく立ち上がりました。現在24時間体制で人工哺育しており一日約7Lのミルクを飲んでいます。おかげで体重は当初の124kgから156kgに増えました。父親（マック）に似て足が長く、遊ぶの

が大好きで飼育員の足を軽く踏んでみたり、体をよせてたりと、とても元気なおてんば娘です。今後は、子ゾウのための寝室を設ける予定で「このゾウが子供を出産する姿を見守ることができればと思っています。」と飼育員の芦田雅尚さんは言う。

※近々公開予定



表紙／石阪春生

セカンドカバー／米田定蔵

目次／安田祐治「ノートルダム寺院」

4月4日(日)～9日(金) 安田祐治展

ギャラリオスカーにて

## 4月号目次◆2004-514

10 KOBECCO 2004／大塚由貴／センダ・ルクムエナ

12 神戸スナップ

14 ある集い／神戸ワインクラブ・骨董ワンダーランド開催実行委員会

16 ANGLE KOBE/A BALMY SPRING DAY／菊池満

18 新連載／アニマルベビー① 王子動物園のインドゾウ

20 (特集) 座談会／元町商店街150周年に向けてのメッセージ

- 26 文学散歩／山本周五郎の「須磨寺附近」を歩く  
野元 正・原 仁美
- 32 KOBEトピックス／史上最高額の神戸ビーフが登場
- 34 インタビュー／神戸空港旅客ターミナルビル着工に向けて  
森井章二（神戸空港ターミナル㈱）代表取締役社長
- 40 ARTインタビュー／松井守男画伯をたずねて
- 44 新連載／木村多恵子の暮らしのエスプリ
- 46 神戸のお嬢さん／荒牧英理子さん 櫻田摩耶さん
- 48 ボンソワールマダム⑥／黒風樹・黒木ヒロ子さん
- 49 ボンテベルレ2004
- 51 第3回鯉川山手アーバンフェスタ
- 52 エッセレバンビーノ⑯／人も車も皆、ご縁です
- 55 私の意見／林 同春
- 56 ボエム・ド・コウベ／竹中郁・え／小磯良平
- 58 創刊43周年記念復刻版名作シリーズ／淀川長治 他
- 64 林敏之のヒューマン対談③／河島あみると語る
- 70 神戸っ子祭2004／水こし町子／上月倫子
- 74 名器に出会う／青木重雄
- 76 でん太の教えてドクター⑦／足立 優
- 78 プロフェッサーPの研究室／岡田 淳
- 80 神戸のアーバンデザイン／田中正人
- 81 神戸のモダンリビング／野崎留美
- 86 次代を創る神戸のニューリーダー⑩  
／中内 仁(株)神戸ポートピアホテル代表取締役総支配人
- 90 話題のひろば
- 94 有馬歳時記／温泉スタンプラリー「湯とりたび」
- 96 神戸の本棚
- 98 ミセスグリーンを知りませんか？④／谷口良平
- 100 びっといん
- 102 イベントスケジュール
- 104 ポケットジャーナル
- 106 山歩き教室⑥／重廣恒夫
- 108 海・船・港②／上川庄二郎
- 110 北斎ミスティー⑯／中右 瑛
- 112 みだら夜話⑯／浅黄斑・え／犬童 徹
- 114 コーヒーカップの耳②／出石アカル・え／菅原洸人
- 116 新連載小説「鏡の中のサムライ」④／中野順哉・え／平田郁
- 122 プレゼントメイト
- 123 愛読者サロン
- 126 神戸っ子俱乐部法人会ニュース
- 132 KITANO HOT NEWS
- 134 神戸うまいもん&ドリンクNG NEWS
- 135 神戸百店会だより
- 写真／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男

座談会／元町商店街150周年に向けてのメッセージ

# あいされて130年 こうべ元町

明治7年、現在の「元町通」と名づけられた元町商店街。

130年にあたる今年、さまざまな企画・イベント・活動が行なわれる。元町130年企画の代表者の皆さんに、熱い思いを語っていただいた。

出席者

三木 久雄(元町130年企画委員長／丸太や)

森 務(元町130年企画副委員長／もとぶら)

近藤 裕重(元町130年事業協賛団体懇談会副座長／マスカル株式会社)

呂崎みよし(アーティスト)



撮影／米田英男

皆さんがつけていっているのは「こうべ元町130年」バッジ。胸に付けて歩く看板となるのだとか

富崎 私の事務所が6丁目の松尾ビルにあります。元町は芸術の生まれる可能性のある空間があります。「時間」がある街ですね。私は生田中学でしたから、元町のあたりはメッカだったのですが、私はあまり遊びませんでしたね、まじめだったから（笑）。本屋さんに行つて本を買うくらいで、それから昔「日の出」さんというレコード屋さんが

元町130年事業は  
未来へ向けたチャンス

——まず、130周年を迎えた元町商店街への思いを。

三木 私が「丸太や」を継

いだ30年前は、神戸の中心が元町から東へ移動していつた時期で、私たちも危機感を持っていました。ところが、最近お客様に「元町に人が増えてきたね」と、まるで30年前と逆のご指摘を受けています。これは、神戸の中心がまた西へ戻ってきたのではないかと思うのです。我々は、その流れをさらに加速させたい。そのためのひとつ仕掛けをする時期として、この130周年というのはいい時期ではないかと思つています。

宮崎 私の事務所が6丁目の松尾ビルにあります。元町は芸術の生まれる可能性のある空間があります。「時間」がある街ですね。私は生田中学でしたから、元町のあたりはメッカだったのですが、私はあまり遊びませんでしたね、まじめだったから（笑）。本屋さんに行つて本を買うくらいで、それから昔「日の出」さん



近藤 以前、三越が  
あつた場所に、夏に  
オープンする「パル  
パローレ」は、さま  
ざまな店舗が入りま  
すが、パルパローレ  
三木久雄さん

とは人々の集まる憩  
いの場という意味です。元  
町でショッピングをした人た  
ちの憩いの場になるような  
場所、そんな位置づけのビ  
ルにしたいと思つています。



近藤裕さん  
もそうです。手作り  
で、あるための、中身  
の濃さというのがあ  
つて、それは元町のひとつ  
のパワーだと思いますね。

宮崎 4月3日～5月5日

には、元町で「アートウイ  
ーク」が開催されます。そ  
のために、元町界隈のギヤ  
ラリーを掲載したマップを  
作りました。皆さんにまず  
知つてもらいたいのは、元  
町にはたくさんギヤラリー  
がある、ということ。ギヤ  
ラリーの皆さんのが、今まで  
あまり前へ出ていなかつた  
ので、神戸のどこにおもし  
ろいギヤラリーがあるのか  
といふことがわからなかつ  
た。ですからこのマップを  
作ることで、ギヤラリーの  
皆さんに「がんばろう」と  
思つていただきたいとい  
うことなんですよ。オーナー  
を刺激して、オーナーがが  
んばれば、私たちアーティ  
ストもがんばつて、お客様  
も来るだらうという考  
えです。そんな「きつかけ」  
を作ることが、この130  
年事業のひとつになればと。

三木 私たちは、このよう  
なパンフレット制作でも、  
ステイナブル、つま

イベントでも、すべ  
て手作りでやつてい  
るんです。これはミ  
ュージックウイーク  
もそうです。手作り  
で、あるための、中身  
の濃さというのがあ  
つて、それは元町のひとつ  
のパワーだと思いますね。

宮崎 ゴールデンウイーク

には、1・3番街の「元町  
バナーコンクール」、6丁  
目の「あるいてえがっこい  
のぼり」など、各丁で何か  
イベントをしようと計画し  
ています。一般の方が参加  
できる、主に子どもたちを  
対象にしたイベントです。

森 5丁目で毎年開催して  
いる「元町児童絵画コンク  
ール展」は16回になります。  
先ほど三木さんが「時  
間」の提供をと言われまし  
たが、私は「場所」の提供  
をしたい。元町の130年  
事業は、130年で終わり  
ではなく、150年に向  
けてのスタートだと思つて  
いますから、元町のブランド  
をもう一度やり直さ  
ないと、150年の前になくなつてしま  
います。大切にした  
いのは「3S」、ス  
ロー、スマール、サ  
ン

りゆつくり、少しずつ、継  
続的にということですね。

当時、絵を描いていた子ど  
もたちが、今ではお父さん  
お母さんになっているんで  
す。そしてまた自分の子ど  
もを連れて「お母さん昔、  
この商店街で絵が飾られた

「元町あれこれ」と題し  
て、作家の故・白川渥先生  
と岡部伊都子先生。司会は  
青木重雄さん。岡部先生が、  
当時の三越は倉庫みたい、  
と発言されて物議をかもし  
だした。元町カーニバルを  
やれ、と白川先生。嬉しい！  
しろうと編集で、兵庫の三  
急印刷へよく通つた。20代  
で恐いもの知らず。



森 務さん

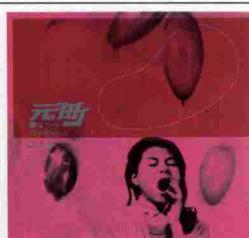
## 150周年に向けて 日本の商店街に

店街にはしなくないです。

環境を考え、アーケード上  
に太陽光発電を備えて利用  
しています。今、街の中心  
部というのはどこへ行つて  
も同じに見えますよね。そ  
んなどこでも同じような商  
舗の広告がいっぱい。

1年続いたときには、神戸  
大丸の塩路義孝さんが、昭  
和9年に出版していた「神  
戸つ子」の名を継いだらど  
うかとすすめていたとき、昭  
和36年3月から「月刊神戸  
戸つ子」を創刊。ハイカラ  
の伝統は今も生きている。

（小泉美喜子）



## 「月刊神戸つ子」の ルーツは元町商店街

昭和34年の12月1日。

「こうべ元町」が創刊。

昨年他界した兄・小泉康夫  
が編集長、私一人でスター  
ト。三越の名カメラマン松  
本泰一氏の表紙写真。対談



①宮崎さんがデザインしたシンボルマーク ②「アートな看板」優秀賞作品

③④3月には障害のある人たちの作品展、作業所や施設で作られた商品を売る「まほろば・すぐれもの工房展」等が開かれた ⑤元町から文化発信をテーマに開かれたシンポジウム

—— 150年に向けて、こ  
ういう街にしたいという願  
いをお話しください。

三木 時代は変わっています  
ので、商店街としては、  
お客様のこれから新たなな  
ニーズ、購買意欲に応えら  
れる商店街でなくてはいけ  
ないと思っています。そう

いう面では、マイナスなも  
のが、むしろプラスになつ  
ていく可能性があると思い  
ます。私は、元町商店街が、  
これから商店街の新しい  
形をつくって、そのモデル  
になるような街になつては  
いいと思っています。

宮崎 元町商店街は、今、  
過度期だと思います。過度  
期だから「今」を残していく  
かなくてはいけないし、新  
しいものを見つけることも  
必要。「今」を残すのはど  
うするのか、「過去」を残  
すことはどうするのかとい  
うのが、未来へつなぐ課題  
だと思う。そのためには、  
過去の残しかたの、ひとつ  
のコア（核）になるものが  
ほしいなあと思います。こ  
こ行けば、元町の核がわか  
るというようなもの。

三木 それはいいですね。  
「元町ミュージアム」のよ  
うなものです。元町歴史  
博物館、のよう。今回「元

町懐古写真展」の開催にあ  
たって集まつた写真を見て  
いても、すごいなあという  
ものがありますからね。

宮崎 歴史的なものや貴重  
なものをお持ちなのは各お  
店なんですが、今そんなお  
店がなくなつていってます  
からね。花隈の方も合わせ  
たら、歴史のある場所です。

森 今年1年、130年事  
業を行ないますが、それは  
130年だからやった事業

ものではなく、確実に、ゆ  
っくりやつていけるように  
していきたいと思うのです。  
そして商店街というのは、  
あくまで商店の集合体です  
から、各商店がこだわりを  
持つてもらうということが  
大切です。基本的には各店  
が一番を目指して、元町商  
店街は日本一だということ  
を目指していくしかないといけ  
ない。そのためには、みん  
ながこだわりを持って、競  
争しないといけません。私  
はいつも、5丁目が元町の  
中で一番だと思っています。  
各丁が競つて、負けないよ  
うにがんばらないといけな  
いと思います。

**CITYLOOP**  
CITYLOOP GUIDE

②シティ・ループでめぐる神戸の街

●1回ご乗車の場合 大人(中学生以上)250円・小人(小学生以下)130円  
料 金 ●1日乗車券ご購入の場合 大人(中学生以上)650円・小人(小学生以下)330円  
1日乗車券は、バスの車内・神戸市総合インフォメーションセンターで販売しています。

●平日／午前9時30分～(中突堤 最終／午後4時18分発)  
運 行 ●土・日・祝日／午前9時30分～(中突堤 最終／午後5時39分発)  
●12月29日～1月1日の間は運休します。

【お問い合わせ】

●バス事業・営業に関することは 神戸交通振興(株)本社 TEL.078-651-8911(土日祝・年末年始を除く 9:00～17:00)  
●バスの運行・お忘れ物に関することは 神戸交通振興(株)ポートアイランド営業所 TEL.078-304-2226(年中無休)  
●(財)神戸国際観光コンベンション協会 TEL.078-303-1010(土日祝・年末年始を除く 9:00～17:00)

### アートin元町1番街・3番街 元町バナーコンクール

主催 元町1番街商店街振興組合・元町3丁目商店街振興組合

■展示期間:4月29日(木)～5月9日(日) ■展示場所:元町1番街・3番街アーケード

●テーマ「山・まち・みなと」／ご応募いただいたデザインの中から入選10点をバナーに製作、元町1番街と元町3番街に展示します。人気投票も行いますので、自由な発想の楽しいバナーの中から、お好みのバナーをさがしてください。

### アートin元町1番街・3番街 元町懐古写真展

主催 元町1番街商店街振興組合・元町3丁目商店街振興組合

■展示期間:4月29日(木)～5月5日(水) ■展示場所:元町1番街・3番街ストリート

ハイカラ神戸発祥の地 元町。元町130年の時の流れを懐古写真でたどってください。

### アートin元町4丁目 杉山知子 画 タペストリー「元町からの風」

主催 元町4丁目商店街振興組合

●アートバルーン教室／バルーンで可愛い人形や動物を作ります。

■開催場所:こうべまちづくり会館前 ■開催日時:5月1日(土)2日(日)／13:00, 14:30, 16:00(一日3回)

■参加方法:事前(当日)に整理券を発行 毎回10名様

●パフォーマンス

■開催場所:ナガ文具店前 ■開催日時:5月3日(月)4日(火)5日(日)／13:00, 14:30, 16:00(一日3回)※都合により、変更になる時があります。

■出演者:3日(月)ピエロのタケピー／4日(火)ゆあさひろし／5日(水)ピエロのあきら君

### 元町の芸術家たち展 II ～こうべ元町からラルネッサンスの風～

主催 元町1番街商店街振興組合・元町3丁目商店街振興組合

■2004年4月8日(木)～13日(火)／10:00～19:00(最終日16:00まで)

■神戸市立こうべまちづくり会館地下ホール

10年前、元町商店街120年を記念して開催された「元町の芸術家たち展」を130年目の今年、第2回展として開催します。出展仲間も、元町商店街とその周辺地域で活躍されている方々をむかえ、43人に増えました。明治7年(1874年)の誕生より、こうべ元町から世界へ発信している「文化の風」、そしてそれを支えている人々のセンスと情熱をぜひ、ご高覧ください。

出展者●坂上 由紀子／小林 美穂子／関本 一実／辻 光洋／三宅 義／志賀 正／辻 香寿美／柴田 美和／中林 昌美／吉田 正博／鈴木 鈴／猿頭 寛子／nano 日向 陽介／平井 史夫／WAKKUN／劉 長偉／田井 彰／白佐 愛子／阿部 薫一／竹内 明子／東 浩哉／松井 コーヘー／松本 やつこ／久本 道子／宮崎 みよし／A.C.P.(アール・西田 喜代一／佐藤 晴美／パターンセミナー／林 美利／猿頭 寛代／三宅 康夫／山本 隆志／初田 寿／赤坂 通夫／木坂 雄二／福羽 弘子／山田 真規子／土生田 猛／森 文男／小西 曜(順不同、敬省略)

### こうべ元町130年記念事業(上半期)

#### ●こうべ元町130年記念式典 ■5月20日(木)／エスタシオン神戸

元町商店街老舗顕彰 元町の夢唱歌の発表 元町の歴史本「元町・夢街道」の出版

#### ●こうべ元町アートウィーク ■4月3日(土)～5月5日(水)／元町と周辺

●こうべ元町130年記念コンサート ■5月21日(金)18時から／兵庫県公館(池宮正信とニューヨーク・ラグタイム・オーケストラ)

#### アートin元町6丁目 ワークショップ「あるいはがくこいのぼり」

主催 元町6丁目商店街振興組合・NPO法人リ・フォーブ

■開催日時:2004年4月29日(祝)／12:30～15:30 ■開催場所:元町通6丁目商店街滝公園

長い布の上をいろいろな形の靴をはいて歩きながら、もようをつくって大きなこいのぼりをつくります。そして、滝公園にあげます。気楽に遊びに来てね。

#### アートin元町5丁目 第16回元町児童絵画コンクール展

主催 元町児童絵画コンクール展委員会・元町5丁目商店街振興組合

■展示期間:2004年4月27日(火)～5月5日(祝)／11:00～18:00 ■展示場所:元町通5丁目商店街全域

「だいすきな…」をテーマにお子さま達の力作約800点を展示 発表いたします。国際学校のお子さま達からもたくさんの作品が寄せられました。それぞれの想いがこめられた力作が、いっぱいに並びます。

### こうべ元町130年記念事業

# こうべ 元町アートウィーク

KOBE  
MOTOMACHI  
ART  
WEEK

2004年

4月3日(土)～5月5日(水)

■こうべ元町ギャラリーウォーク

■元町の芸術家たち展 II

■アートin元町商店街



## 心癒される 神戸のカフェガーデン

元町をショッピングして、ちょっと休憩なさるとき、

いつでも同じ雰囲気でゆったり珈琲を召しあがっていただきます

元町サントス 神戸市中央区元町通2-3-12 TEL.078-331-1079

# 須磨離宮公園 スプリングフェア2004開催!

緑豊かな広大な敷地と、目の前に広がる青い海。旧離宮と噴水のしぶきがきらめく欧風庭園が織りなす憩いのオアシス。水と花と緑のハーモニーを奏でる須磨離宮公園に、ぜひお出かけください。

## 【スプリングフェア2004

4月29日(木・祝)～5月9日(日)

### ①グリーンアドベンチャー大会

4月29日(木・祝) 10時～

植物に関するクイズラリー。完走者には参加賞をプレゼント。  
先着500人



### ②春の野点

4月29日(木・祝) 10時～

一席300円。先着200人



### ③押花アート作品展

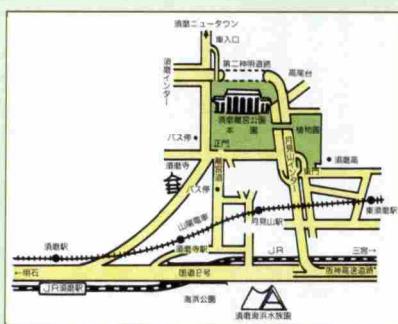
5月3日(月・祝)～5日(水・祝) 10時～

### ④フラワーガーデンコンサート

5月4日(火・祝)～5日(水・祝) 13時～

### ⑤子どもの日お楽しみゲーム大会

5月5日(水・祝) 10時～



【開園時間】午前9時～午後5時 (入園は4時30分まで)

4月29日～5月9日の土・日曜・祝日は午後8時 (入園は7時30分)まで  
木曜休園(祝日の場合は翌日)

【入園料】15歳以上(中学生を除く) 400円

小・中学生 200円

【交 通】山陽電車「月見山」下車、北西へ徒歩10分

山陽電車「須磨寺」下車、北東へ徒歩10分

JR「須磨」より市バス妙法寺駅前行「離宮公園前」下車すぐ

地下鉄「妙法寺」より市バス須磨一の谷行「離宮公園前」下車すぐ

【問い合わせ】須磨離宮公園 ☎(078) 732-6688

<http://www.kobe-park.or.jp/rikyu/>

■野元正（作家）の文学散歩／ゲスト 原仁美さん（関西和装学院院長）

山本周五郎の

## 『須磨寺附近』を歩く

○須磨寺夫人

早春の須磨の海はまだ透き通った海水の色に厳しかった冬を残していた。しかし、浜辺に打ち寄せるさざ波や鉄揚山の茫つとかすんだ稜線にきらめく陽光にはどことなく春の気配が感ぜられた。

原仁美さんにおつきあいいただき、山本文学の原点といわれる文壇デビュー作『須磨寺附近』の現地を歩いてみた。この作品は最初の山本周五郎全集に収録された。その理由を「幼きも幼きころだ」と周五郎は『小説現代』（昭和40年3月号）掲載の河盛好蔵との対談『作家の素顔』の中で答えているが、繊細な資質ようなものが感ぜられるから、やはりこの作家の原点を示すものとして評価されている。主人公清三が恋するヒロイン青木康子のモデルは友人の姉で九歳年上の木村じゅんである。周五郎は彼女に横浜の少年時代から憧れていた。それは永遠の憧れであり、山本文学の底流を支えるものだと思う。人は彼女を「須磨寺夫人」と呼び、（ひじょうに優れて美貌であった）他の作品でも「神戸もの」に限っていえば、『陽気な客』の大村夫人、『約』の



カメラ／米田英男



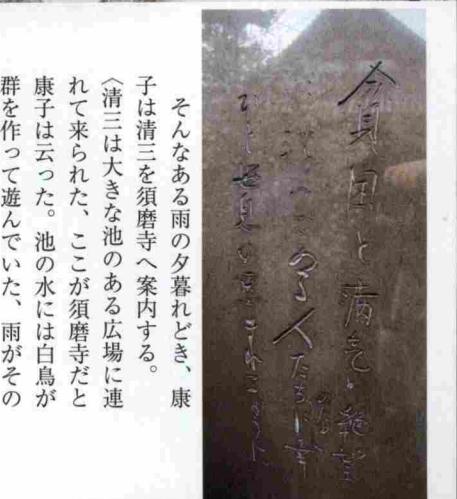
純子など「須磨寺夫人」がイメージされていると思われる。

○須磨の浜辺

さて、あらすじを追ひながら話を進めよう。清三が友人青木の嫂康子が住む月見山の家〔名作を歩く〕神戸新聞文化部編の説によれば、離宮前町にあつたという寄宿した秋の夜、夕食後、三人で月光が照る須磨の浜辺に遊ぶ。

〔浜には波がなく、淡い霧が降りて寂然としていた、三人の息は月の光を含んで白く冰つた。青木は、月見頃になるとこの浜一面に藻潮を焚いて酒の宴を開く習慣があると話した〕

三人が行つた須磨の浜辺は康子の家〔離宮前町〕から離宮道をまつすぐ下り、現在のJRと国道二号を渡つた赤灯台あたりの海岸で



そんなある雨の夕暮れとき、康子は清三を須磨寺へ案内する。

〔清三は大きな池のある広場に連れて来られた、ここが須磨寺だと康子は云つた。池の水には白鳥が群を作つて遊んでいた、雨がその上に静かに濺いでいた。池を廻つてしばらく眼を閉じてじつとしていたが、まもなく帰ろうと云いだした。康子は傘を広げようとしながら云つた。〕

「あなた、生きている目的が分かりますか」

「目的ですか」

「生活の目的でなく、生きている目的よ」

清三には康子の云う意味がわからなかつた。

### ○【須磨寺附近】文学碑

この部分は文学碑となつて、須磨寺龍華橋北西橋詰めにある。現代彫刻家速水史郎が東北の「どうかぶり」という石を使って制作した。この文学碑の珍しいのは碑の裏に周五郎の二つの遺言のうち、世の中の人へという遺言が刻まれ

てていることだ。〈貧困と病氣と絶望に沈んでいる人たちために幸ひと安息の恵まれるよう〉、周五郎)と。なお、彼は文学碑を嫌っていたので、周五郎研究家で詩人の足立巻一はこの碑の建設に強く反対したと速水史郎はエッセイに書いている。

ところで康子の月見山の家は離宮前町だからふたりは離宮道を横切つて須磨寺へ行つたと想像できる。離宮道の小さな土手に植えられた禿仕立ての松が雨に濡れて新鮮に見えたかもしれない。

そして現在の天理教兵庫大教会の南沿いの小径をぬけると、大池

の畔にある今浮き御堂あたりに出る。

同行の原仁美さんの四季の花をあしらつた和服姿が離宮道や浮き御堂を映す水面に映えて見えた。

大正13年、須磨寺発行の『須磨寺境内全図』によると、当時大池の畔は新吉野といつて、今よりさらに桜の名所であつたらしく、当時の絵はがきもある。また、豹の舞台になつた動物園は現在の温泉旅館のあたりにあつた。(池を廻つて、高い石段を登ると寺があつた)ここは現在と違う。池を廻ると、仁王門の前へ出る。いきなり高い石段には

### ○魔性の女と「我慢なさい」

冷たい寒い日、頭痛で早引きした。しきりに康子が恋しく思われる。やつと帰り着いても青木が留守番をしていて、康子は夫の上役の家に行つているとかでいなかつた。青木は電報を見せてくれる。『正月に帰る』と読み取れた。清三はすぐ寝たが、頭痛と電報が気になつて眠れなかつた。

ふと目覚めると、鼻先に康子の顔があつた。(康子が顔を引くのとほとんど同時に、清三の手が本能的に康子の膝に伸びていった、康子はその手をしつかりと握つた。



そして程なく「我慢なさい」と思わせぶりを言つて階下に下りていった。

また雨の日、清三は康子に新開地の松竹座に呼び出される。しかし、夫の上役と同席の意味で苦しみ、また期待してきた恋心を虚しく潰した康子のつれない素振りに怒つて帰る。

この場面も同行の原仁美さんに女性心理を尋ねたかったが、怖くてやめた。

### ○恋の終焉

四、五日後ふたりつきりの夕食のとき、康子は清三に須磨寺前に佳い下宿先を見つけておいた、といふ。込み上げてくる感情に耐えられず二階へ上がった清三は追つてきた康子と唇を合わせる。そして「来月の船で亞米利加へ行きます」と康子は言つた。〈康子の熱い呼吸が清三の頬に近づいた。康子は「我慢なさい」と云つて康子は階下に去つた〉



朝起きると雨だった。清三は恋の終焉を悟つた。清三の気持ちを映すように〈雨の中に須磨寺や鉄拐山の峰が寒くかすんでいた〉。〈生きている目的が分かるか〉清三は朱い山門の下で云つた康子の言葉を思い出していた。

### ○永遠のテーマ

この小説のテーマは「生きている目的が分かるか」だと思う。例の足立巻一は「周五郎が生涯を追求した（永遠の）主題」だ、と言つている。

### ○雨の物語

この小説における作者の心象風景として雨のイメージが浮かび上がつてくる。作者の気持ちを反映するかのようにこの作品の重要な部分はいつも雨が降っている。例を上げると、康子が清三を須磨寺へ案内するときや激しい頭痛のなかの電報を見たとき、康子から松竹座に呼び出されたときや最後の恋



### ○文学散歩のんびりコース

(所用時間2時間30分から3時間)  
JR須磨駅→須磨の浜辺→須磨関屋跡→須磨靈泉→須磨寺中門→龍華橋詰『須磨寺附近』文学碑→仁王門→源平の庭→石段→唐門→本堂→赤門→四国八十八カ所巡り→三重塔→敦盛首塚→大池池畔→浮き御堂→天理教兵庫大教会南小径→離宮道（月見山・離宮前町界隈）→離宮公園→西国街道→JR須磨駅

### ○網敷天満宮の梅

康子の家から須磨の浜辺に至る途中に菅原道真ゆかりの梅で有名な須磨の天神さんがある。神戸の詩人で須磨在住であった竹中郁が詠つた『網敷天満宮奉賛歌』の詩碑もある。

### ○須磨寺前商店街

須磨寺の門前町として栄えた須磨寺商店街は今も毎月二十一日、お大師の月例御影供や花見の季節には人びとで賑わう。いわゆる寿司、そば、菓子が美味い。

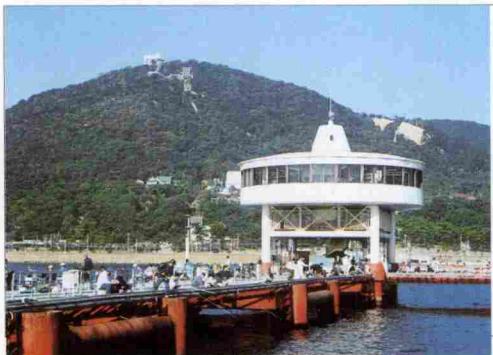
# 神戸市立 須磨・平磯海づり公園



山口敏雄さん 垂水区在住

須磨海づり公園に通うこと28年。ここは海底が深くどんな魚が釣れるかわからないおもしろさがあるのが魅力です。東、西の潮流の境目なので身の締った美味しい魚が釣れます。今のシーズンは、メバル、アブラメ、ガシラ、スズキなどがよく釣れます。これからも海づり公園の釣り仲間とともに、釣りがさらに上達できれば、初めて来られた人達にここを楽しさを伝えることができればと思っております。

家族そろって、レッツフイッシング!! 快適フィッシングスペースを満喫!!



レストラン(平磯)

## 神戸市立須磨海づり公園

神戸市須磨区一ノ谷5丁目地先

TEL.078-735-2907

阪神・山陽電鉄「須磨浦公園」下車すぐ

休園日／毎週火曜日(但し、祝日は開園)

## 神戸市立平磯海づり公園

神戸市垂水区平磯1丁目1番66号

TEL.078-753-3973

阪神・山陽電鉄「東垂水」下車南へ徒歩約8分

休園日／毎週木曜日(但し、祝日は開園)



バーベキュー広場(平磯)

売店・軽食堂完備  
エサ・釣具・軽飲食・貸竿

テレフォンサービス 078-732-4926  
<http://www.umiduri.com/>

### 開園時間(共通)

期 間	時 間
4月～6月・11月	6:00～18:00
7月～10月	6:00～19:00
12月～3月	7:00～17:00

売店・レストラン・軽食堂完備  
エサ・釣具・軽飲食・貸竿

本州四国連絡道路の

安全・円滑な交通と

地域の発展をめざします



幸前 成隆 (財)本州四国連絡道路管理協会 理事長

世界一のつり橋が眺望できる

すばらしいビュースポットの

淡路サービスエリアへ



淡路サービスエリア

財団法人本州四国連絡道路管理協会

神戸市中央区雲井通4-1-2 三宮東ビル4F

TEL 078-242-3833

特別展「ゴリラ特集」

4月15日(木)～6月29日(火)開催

コウコウ(オス)



パンダが  
待っている動物園

タンタン(メス)



交通  
至便

神戸市立王子動物園

☎078-861-5624

<http://www.ojizoo.jp> 水曜日休園

●動物園へは電車・バスをご利用ください。